

抗 Toa1 (*S. cerevisiae*) 抗体、ウサギポリクロ

62-021 100 µl

保存温度：4℃で輸送、長期保存は-20℃

反応性：出芽酵母 Toa1 タンパク質

免疫原：大腸菌で発現した His-tag 付組換え体 Toa1 タンパク質 (1-286 aa)

用途：ウエスタン ブロットイング (1/1,000~1/5,000)

性状：0.1%アジ化ナトリウム添加抗血清

背景：基本転写因子 TFIIA は、TATA ボックス結合タンパク質 (TBP) の DNA 結合を安定化するとともに、転写調節因子の働きによって基本転写因子 TFIID が活性化される際に重要な役割を果たす。また出芽酵母の TFIIA は、Toa1p (286aa)、Toa2p (122aa) という 2 個のサブユニットから構成される。

データリンク SGD [TOA1/YOR194C](#)

文献：本抗体は以下の論文に記載され、使用された。

Takahashi H. et al. *Saccharomyces cerevisiae* Med9 comprises two functionally distinct domains that play different roles in transcriptional regulation. [Genes Cells](#). 2009 Jan;14(1):53-67. doi: 10.1111/j.1365-2443.2008.01250.x.

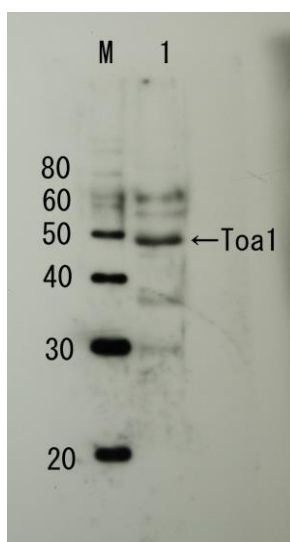


図1 ウエスタンブロット法による Toa1 タンパク質の検出

レーン M: タンパク質サイズマーカー(kDa)

レーン 1 : 出芽酵母抽出液

抗血清は 5,000 倍希釈して使用

Toa1 タンパク質の分子質量は 32.2 kDa であるが、WB では 45~47 kDa の位置に出る (他の論文でも)。